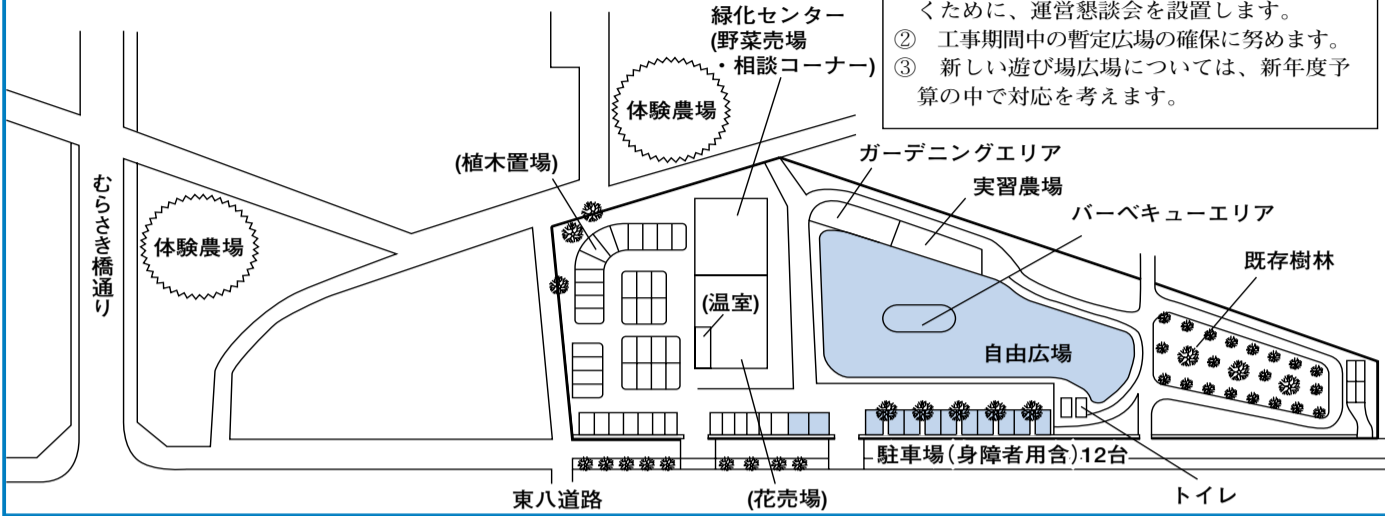


「農業公園」構想の最終案提示へ ～隣接農家の協力で自由広場が当初案の約5倍に

●最終案(平成15年11月27日)



- ① 農業公園の運営を市民と協働で行っていくために、運営懇談会を設置します。
- ② 工事期間中の暫定広場の確保に努めます。
- ③ 新しい遊び場広場については、新年度予算の中で対応を考えます。

市では、身近な農業に接する機会を多く持ちたいという市民のみなさんの声に応え、新川みどりの広場(新川6-30)に「三鷹市農業公園(仮称)」の開設を予定しています。

この公園は、みなさんが農業について学び、体験・交流できる総合的な農業振興・緑化の拠点施設となります。みどりの広場の風景・空間をできるだけ残し、バーベキューなどにも利用可能な自由広場、体験農場などがあるほか、この場所に三鷹緑化センター(野崎一)を移設して野菜類の収穫やガーデニング講習会なども行われます。

多くの意見が寄せられました。その後、市では市民へのPRなどに反省すべき点もあつたとして、10月以降説明会を3回、団体ヒアリングを12回開催しました。みなさんの意見や議会での議論を踏まえて、10月10日に修正案を提示しました。さらに11月27日には、隣接の農家の方から「体験農場」部分についてのご協力を得ることを反映した最終案(左上図)を提示しました。

最終案の概要(11月27日提示)

次のような点を、市民のみなさんの意見などにより修正、変更し、対応することとしました。

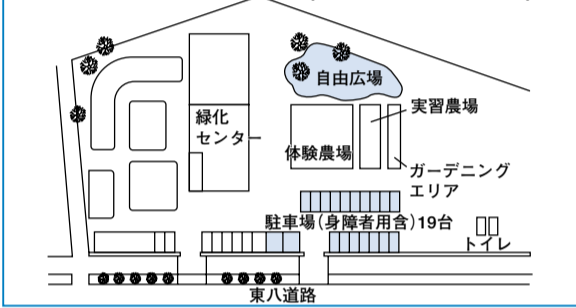
- 【農業公園敷地内部の変更点など】
- ①自由広場を可能な限り広く確保しました
- ②自由広場を可能な限り広く確保しました
- ③新しい遊び場広場の確保

当初案(8月5日)で約400㎡であった自由広場を、修正案(10月10日)では約1千200㎡に、最終案(11月27日)では約2千㎡と拡大しました。ガーデニングエリア、実習農場については公園北よりの斜面地に移設し、自由広場を使いやすい形になるよう変更しました。

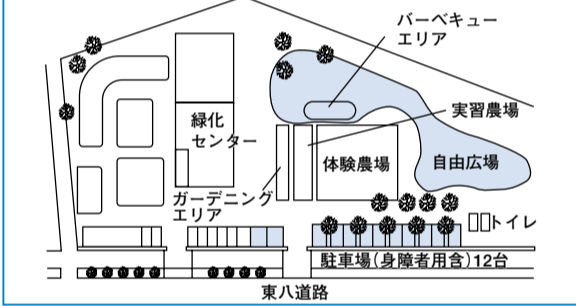
②体験農場を近接農地へ移しました
農業公園内に予定していた体験農場については、当初案では公園内に約250㎡としましたが、修正案で

③新しい遊び場広場の確保
新しい遊び場広場の確保に向けて、平成16年度予算の中で対応を考えます。

●当初案(平成15年8月5日)



●修正案(平成15年10月10日)



市民と農業を結ぶ 学び・交流・体験の場 三鷹市農業公園(仮称)の施設内容

- 体験農場
親子、各種団体・個人による野菜類(ジャガイモ、サツマイモなど)の植え込みから収穫までの農作業を体験する場です。
- 実習農場
夏野菜苗物栽培、さつまいも観葉植物の手入れ、菊の仕立て方、植木根巻き、鉢物寄せ植え、植木せん定などの講習会を実施します。
- ガーデニングエリア
各種ガーデニング見本庭園です。ガーデニング講習会などを実施します。
- 自由広場
火の使えるバーベキューエリアで収穫したサツマイモで焼き芋大会をするなど、自由に利用できる広場です。
- 農園周辺の生垣
いろいろな樹木を利用した生垣見本をつくり、生垣せん定講習会などにも使用します。
- 緑化センター
現在、野崎一丁目にあるJA東京むさし三鷹緑化センターを移設します。
- ①市内の緑化推進に取り組みとともに、地場産野菜・植木・花卉類の販売など市民のみなさんに新鮮で安全な農産物を提供します。
- ②地元で生産した農産物を地元で消費する地産地消の充実を図るため、体験農場で収穫した野菜などを使った試食会など、市民と農業者の交流の橋渡しをします。
- ③農業公園全体を管理し、各講習会の指導者を派遣し、市民と協働で積極的に農業振興、緑化政策を進めます。

12月の火に説明会を開催します

農業公園について、市民のみなさんの意見を反映させ変更を重ねた最終案について、確認を行うため、説明会を開催します。

▽12月9日(火)午後7時から、三鷹市公会堂別館3階第7会議室で。

▼当日、直接会場へ。

くわしくは生活経済課都市農業係 ☎内線30633へ。

物語の中のクリスマス

12月は、新年を迎える準備や年末のイベントで忙しい時期ですが、街に流れるクリスマスソングが、気分を浮き立たせてくれる季節でもあります。今回はクリスマスに関する本を紹介いたします。

◆「くるみわり人形」E・T・A・ホフマン作 モーリス・センダック 絵 ほるぷ出版

パシフィック・ノースウエスト・バレエ団のみなさんに捧げられたこの本は、センダックの絵が随所に効いた、しゃれな作りです。マリーの気持ちになつてくるみわり人形の応援をしたり、ハラハラドキドキできます。

◆「クリスマス事典」国際機関日本サンタピア委員会監修 クリスマスを考える会構成 あすなろ書房



サンタ・クルスへの長い旅

実は、クリスマス話ではありませぬ。主人公の8歳3カ月になったばかりの、赤毛でそばかすだらけのヘルマンが「時間の旅人」と出会う、長い旅の話です。その成長と、サンタ・クルスはどう繋がるのでしょうか。

◆「冬・12月の星 クリスマスの星(子口の星空カレンダー・12)」藤井旭著 ポプラ社

「馬小屋でキリストが誕生したとき、三博士をそこの星に導いた『ベツレヘムの星』の正体は、いったい何だったのでしょうか?。クリスマスにちなんだ星の話。読み進むと、流星・彗星の話、星座のこと、ギリシャ神話:星の世界がどんどん広がります。

◆「おしゃべりなキャンドル(手づくりであそぼ)」藤田勝治 作・絵 童心社



クリスマスブーツに入ったお菓子を食べたり、ツリーを飾る本当の意味を知っていますか?この本を読めば、「クリスマスって、なあに?」「プレゼントはなぜ贈るの?」など子どもの素朴な疑問にも、すっきりと答えられるようになります。

◆「サンタ・クルスへの長い旅」ミヤエル・エンデ文 レギーナ・ケーン絵 ささきたつこ訳 岩波書店

クリスマスにはツリーが欠かせませんが、キャンドルの灯りもムード作りの一役かっていることも多いのではないのでしょうか。色とりどりのおしゃべりなキャンドルがきれいなカラー写真で紹介され、材料も最近では揃えやすいものばかりです。あなたのオリジナルを作ってみませんか。

↓三鷹図書館 ☎43-9151